



おおくき

令和4年7月1日
第517号
八戸市立大久喜小学校
0178-38-2609

複式教育のメリット・デメリット

校長 高橋 将樹

本校は児童数の減少により、平成29年度から複式教育を行っています。複式教育とは、2個学年以上の児童を1つの学級に編成した複式学級において行われる教育です。授業中、担任が児童に直接かかわる時間が半分になってしまうため、保護者・地域の皆さんの中には、あまり好ましくないイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。確かにデメリットとして「少人数のため、切磋琢磨する機会が少ない」「友人関係の固定化や序列化が起きやすい」「集団で行うスポーツ競技が十分にできない」「授業の準備等、教員の負担が大きい」等が挙げられます。このことについては話題となることが多いのですが、今回はあまり話題とならない、複式教育のメリットについて焦点を当ててみようと思います。

【複式教育のメリット】



- 少人数のため、一人一人に応じた指導がしやすい。
- 学校生活において一人一人の果たす役割が大きいため、責任感やリーダー性が育つ。
- 間接指導(担任が他学年を指導)の時には、子どもたちだけで学習を進めていくため、主体的に学ぶ子どもが育つ。
- 学校行事や対外活動等、活躍の場が多い。
- 地域の目が行き届くため、安心・安全な学校生活を送ることができる。

以上のことは複式校(小規模校)の持つ特性であり、「児童の自主性・自立性がより大きく育成されます」(ザンクトガレン大学:クレニン氏)

大久喜小学校では、この複式教育のメリットを積極的に生かし、大規模校ではできない、小規模校ならではの教育活動を進めていきます。これからも本校の教育活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。



《令和4年度 地域学校連携協議会について》

「地域の子どもは地域で育む」を目指す「地域学校連携協議会」。今年度は6月9日に第1回目の協議会を行いました。校内を一巡して授業を見ていただいた後に、様々なご意見をいただきました。これからも、地域・保護者・学校が一体となった学校運営をめざしていきます。

以下に、今年度の委員を紹介いたします。

高橋 信行(大久喜町内会長)
 近藤 兼蔵(法師浜町内会長)
 高橋 ミ子(南浜防犯協会女性部長)
 高橋 京子(大久喜民生委員)
 高橋喜 久一(前大久喜民生委員)
 岡村 隆成(八戸工大名誉教授)
 松村 茂信(元PTA会長)
 種市 正喜(PTA会長)

竹下 豊一(本校教務主任)
 池田 洋子(地域密着型教育コーディネーター)
 松村 陽子(地域密着型教育コーディネーター)
 山口久美子(地域密着型教育コーディネーター)
 <顧問>
 中村 義一(大久喜漁業生産部会長)
 林 福吉(法師浜漁業生産部会長)
 ※順不同・敬称略

6月の行事の様子



◎海岸清掃(6月10日) 大久喜海岸のごみ拾いをしました。



◎読み聞かせ(6月3日) 高橋京子さんに「巨人とおかみさん」を読んでいただきました。



◎しおかぜ遠足・ウニむき体験(6月16日) たくさんのウニとにらめっこして、集中して殻をむきました。給食でおいしくいただきました。



◎海底ごみ見学(6月17日) SDGsゴール14「海の豊かさを守ろう」の学習をしました。海底にはいろいろなごみが沈んでいました。

しおかぜ遠足～お礼～

おかげさまで今年度もウニの殻むき体験を実施することができました。大久喜・法師浜両漁業生産部会をはじめとする皆様のご厚意とご協力に心よりお礼申し上げます。



◎宿泊学習(6月20～21日) 3～5年生が自然の家で活動しました。初日、午前はいかだづくり、午後はいかだ遊びをしました。夜はフォークダンスやナイトハイクを楽しみました。みんなで力を合わせる大切さを学びました。

◆7月の行事予定◆

- 5日(火) 教育指導課訪問
- 7日(木) 集金日
委員会活動
- 8日(金) なかよしタイム
- 9日(土) 浜小屋学習発表会【博物館にて】
(よさこい披露・特別講演)
- 11日(月) 振替休業日
- 12日(火) 個人面談週間(～15日)
全校5時間授業(～15日)
移動図書
- 13日(水) 音楽集会
- 15日(金) 修学旅行保護者説明会
- 16日(土) 南浜地区スポーツ大会
- 18日(月) 海の日
- 21日(木) 1学期終業式
- 22日(金) 夏季休業(～8月23日)

